

## 県高校生芸術文化国際交流プログラム【書道部門】派遣決定

7月11日、県教育委員会より「沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム【書道部門】」派遣選考結果が届きました。応募者多数、実力伯仲、高レベルの中、宮良祐梨奈さん(2-5)が見事 台湾・台北市への派遣を手にしました。

宮良さんのコメントです。

「1次課題は「半切課題」で、北魏時代の牛欄造像記の作品を鋭い筆画と力強さをダイナミックに表現しました。2次課題は部活動(バドミントン)と書き込みの両立で大変でしたが、空き時間を利用し頑張りました。教室にクーラーをつけてもらいありがとうございました」とありました。

本プログラムは、グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るために、県教育庁文化財課が実施するものです。選考された生徒達は、11月7日から11日の派遣までの間、事前研修や作品づくりなどの学習や訓練が待っています。沖縄県の代表としてG高の誇りを胸に頑張りたいと思います。

指導を担当した仲舛由美子先生は「祐梨奈さんは、バドミントン部、委員会活動など両立が大変でしたが、限られた時間の中で、1次課題・2次課題に向けてコツコツと頑張っていました。この夏、派遣に向けて研修がありますが、貴重な体験にして欲しいと思います」とありました。



先生は非常勤で、本来ならその授業の時間だけ出勤する形態ですが、放課後や休日にも指導にあたるなど、その熱心な姿勢には頭が下がります。実は、このプログラムについても昨年度に続いての快挙となります。仲舛先生ありがとうございます。また今後もよろしくお願いします。

著名な版画家の池田満寿夫氏の言葉を思い出します。

「能力や才能はそれを認め活用してくれる能力や才能がなければ成り立たない」

